



株式会社加平

製造業
(合成皮革)

「おもしろおかしくモノづくり」を合言葉に、多様な資材を製造する合成皮革製造メーカー。

創業当初は遮光カーテンや医療用シート等の産業用資材を、現在は自動車のシート用合成皮革を中心に設計・開発から製造までを担う。環境配慮型製品を展開するなど、多種多様な分野へ先進的に挑戦している。



事業者概要 (2024年2月現在)

代表者 田所 茂和
所在地 大阪府泉佐野市日根野4165番地
電話番号 072-464-5234
従業員数 120名
主な事業内容 車輛用合成皮革及び人工皮革の設計・開発及び製造

URL <https://www.t-kahei.co.jp/>

取組の背景

- 環境問題解決に向けた取組を模索する中で、金融機関からCO2排出量の見える化について案内を受けた。
- 自動車業界では大企業を中心に排出削減目標を設定する動きがある。今後の具体的な取組要請に備え、今のうちから脱炭素活動を進めるべきとの考えで、取組を開始。

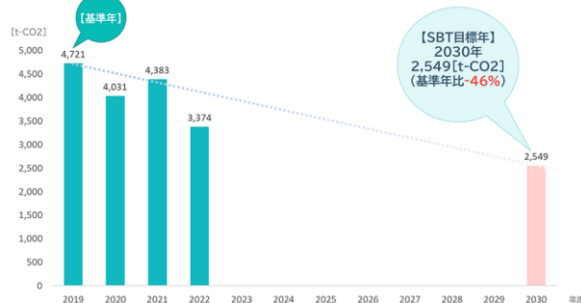
SBT取得 # ESG融資 # CFP # 環境にやさしい合皮

取組の内容

中小企業版SBT・ESG融資

- エネルギー使用状況をオンライン上で管理するツールを活用し、2030年に向けた排出削減ロードマップを作成。
- 自社分のエネルギー使用における排出削減目標 (Scope1、2) を定めた中小企業版SBT認証を取得。
- 環境等に配慮した経営を行っている企業向けの融資である「ESG融資」を、複数の地域金融機関において活用。

➡ 2030年までに2019年比46%の削減を目指す。(※2019年排出量：4,721t)



CO2排出量の削減目標

排出削減目標達成に向けた取組

- キュービクルに監視装置を取り付け、製造ラインごとのエネルギー使用状況を見える化。
- 金融機関からの提案で、自家消費型太陽光発電設備を第2工場屋根に設置予定。(パネル230枚・49.5kW)



✓ 見える化したデータに基づき、空調の設定温度の変更に加え、照明のLED化等、各種省エネ活動に取り組んでいる。

✓ 太陽光発電設備の導入では、CO2排出量を約30t削減できる見込み。



太陽光発電システムの割付図

CN社会に寄与する製品

- 環境配慮型の合成皮革製造技術
風合いを損なうことなく、製造工程の省エネルギー化等を実現する合成皮革の製造法を確立。(環境対応無溶剤合成皮革)
- カーボンフットプリント (CFP) の算定
自社製品のCFP (製品のライフサイクルにおける温室効果ガス排出量) を算定。脱炭素に資する様々な製品も展開。
 - ・高バイオ化度の接着剤：食品廃棄物等を使用した接着剤で合成皮革を加工
 - ・Bio Leather：樹脂に用いる炭酸カルシウムを、廃棄される卵の殻で代用
 - ・アップルレザー：サステナブルな活動の一環として、ANA機のヘッドレストカバーに採用

卵の殻を樹脂原料に配合した合成皮革

Bio Leather

卵の殻以外にも植物由来原料を使用してバイオマス度を高める事でバイオマスマーク認定を取得。石油だけでなく、植物からも化学品が作れるようになりました。



環境配慮型製品「Bio Leather」